

夏季手当 特集号

役員報酬は、いま…

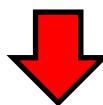
賃金が物価上昇に追い付かず、実質賃金が減り続ける中、私たちは自らの家族と生活を守るため、施策に協力し、必死に働いています。そのような中、役員報酬が今どうなっているか、会社資料をもとに見てみましょう。

えっ！？
大幅に増
えてる！



2022年

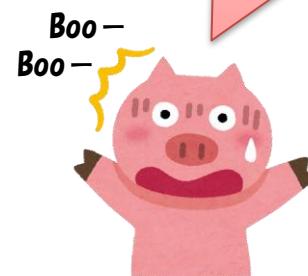
報酬等の総額	基本報酬	業績連動報酬	対象となる役員数
5億3,900万円	4億8,900万円	4,900万円	20名



2023年

報酬等の総額	基本報酬	業績連動報酬	対象となる役員数
6億2,000万円	5億700万円	1億1,300万円	19名
対前年比…	対前年比…	対前年比…	対前年比…
8,100万円 増額	1,800万円 増額	6,400万円 増額	1名 減
15% UP	3.7% UP	131% UP	—

業績連動
報酬が大
きく増え
ているね



では、業績連動報酬とは、どのようなものでしょうか？

業績連動給与とは、会社の利益に応じて支払われる役員報酬のことです。算定の基礎となる業績は、利益の状況や株式の市場価格の状況を示す**客観的な指標によって評価**されます。
 (総務・会計情報サイトより)

では、今回の業績連動報酬に対する会社の考え方は？

2022年度の業績連動報酬について、会社業績評価については2022年度は黒字化したものの、**業績目標が未達であったという結果を厳しく捉えて評価を行った**上で、各取締役の「グループ経営ビジョン『変革 2027』の達成に向けた貢献度」等を加味して総合的に評価し、加減算を行いました。
 (会社資料より)

客観的に評価された業績をもとに厳しく評価を行った結果、昨年より6400万円増の1億1,300万円の業績連動報酬を出す判断に至ったということです。

この判断を知ってしまうと、夏季手当の団体交渉における「黒字になったが、順風満帆と言えず、楽観できない」という会社の後ろ向きな姿勢に疑問を持たざるを得ません。

なお、業績連動報酬が1億円を超えたのは、コロナ前の2019年(1億7,200万円)以来のことです。「コロナ前に戻ることはない」というのは、本当なのでしょうか？

皆さんは、どう思いますか？ 社員には満額回答で答えるべきではないか？
 東労組は皆さんの意見をしっかり聞きます！